

お
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の

さっぽろ 東本願寺

No.242

2025 9月号

行事報告	01
雲龍柳	02
今月のことば	03
お寺さんに聞いてみよう	04
門徒のおしごと	05
ひがほんっ子だより	06
法話 渡邊 誉	07,08
無盡蔵	09
連載 近代の教学者	10
すすきの探訪ツアー	11
共生	12
おしらせ	13,14

院議会議報告

6月20日札幌別院大谷ホールにて2025年度の院議会通常会が開催された。議長には比後暁育議員、議事録署名委員に照山大智議員、中村吏議員が選出された。

議事に先立ち事務局より2024年12月9日に常議員会が開催され、第1号議案「監事の推薦について」西尾長幸氏と關川宗夫氏が推薦され、第2号議案「会計の選定について」大橋暁幸会計が再選定された

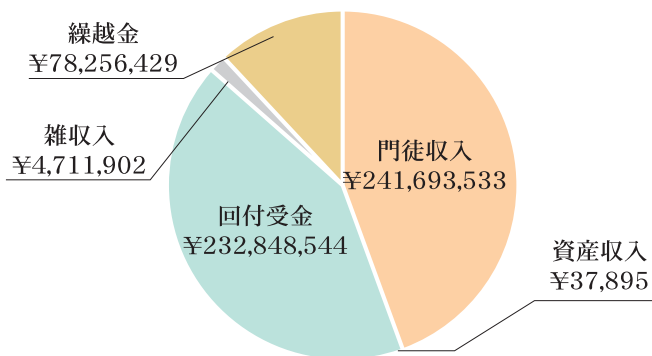
旨が報告された。

議案は第1号議案「2024年度札幌別院決算書」、第2号議案「2025年度札幌別院經常部歳入歳出予算(案)」の2議案であり、全て原案通り可決された。

また、「札幌別院宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」と「札幌別院160年記念法要」を2030年に併修することが決定された。

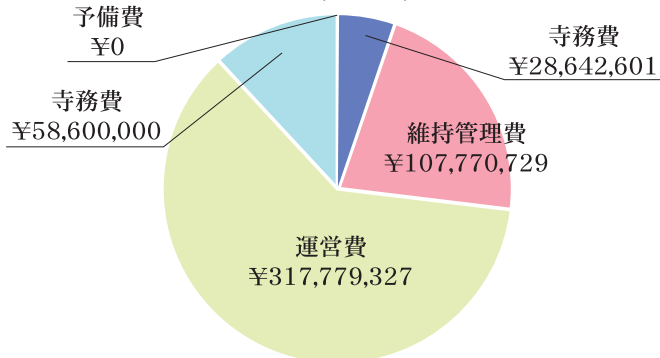
2024年度經常部決算 歳入の部

総額 557,548,303円



2024年度經常部決算 歳出の部

総額 512,792,657円



暁天講座

7月1〜3日の日程で暁天講座が開講された。今年は狐野秀存氏(前大谷専修学院学院院长)をお招きし、「念仏する法蔵」という講題でお話いただいた。(法話要旨は11月号に掲載予定)

7月1〜3日の日程で暁天講座が開講された。今年は狐野秀存氏(前大谷専修学院学院院长)をお招きし、「念仏する法蔵」という講題でお話いただいた。(法話要旨は11月号に掲載予定)

期間中は例年より蒸し暑い日が



中野家・岸家

5月24日に札幌別院本堂にて仏前結婚式が執り行われました。

皆様、おめでとうございます。

新郎 中野友誠さん 新婦 岸 実里さん



現来寺支院夏まつり報告

6月29日、快晴のもと「2025年現来寺支院夏まつり」が開催された。今年は開催時間を午後2時から午後4時と短縮し、食べ物提供ブースを本堂内で行うなど暑さ対策を講じた上での開催であった。

開始20分前から参加者が並び始め、輪番開会宣言後にはゲームコーナー、各飲食コーナーには一気に入だかりが出来た。食べ物はフライドポテト、チキンナゲット、ワッフル、ホットドック、いももちが用意された。ゲームコーナーには恒例のくじ引き、ヨーヨー釣り、輪投げや水中コイン落としがあり、大人も子供も一緒に歓声を上げていた。

まつりのフィナーレには本堂にて北翔大学教育文学部教育学科音楽コースの学生たちによる金管アンサンブルが披露され、観客は楽器の音色に酔いれた。

用意した飲食物も売り切れる程大変賑やかな夏まつりとなり、終了後はご協力いただいたご門徒と慰労会を行い相互の親睦を深めた。



▲現来寺支院夏まつりの様子

ひがほん夏祭り2025開催

7月5日、大谷ホールにて「ひがほん子ども夏まつり」が開催された。

毎年恒例のこのイベントはボーイスカウト札幌第9団、ガールスカウト北海道第1団、札幌大谷幼稚園、札幌別院子ども会が実行委員会となって催され、今年も釣りゲームや的あてゲーム、輪投げやぬり絵など多くの出し物が出され、縁日はホール内に留まらずロビーにまで広がった。

札幌別院子ども会からは「水中コイン落としゲーム」を出店した。これは水を張った容器の底の的をめぐりコインを落とすゲーム。落としたコインは水の中でゆらゆらと動き、思うようには落ちない。来場した子どもたちの中には、その難しさがクセになり何度も挑戦する子もいた。

当日は120名程の子どもたちが来院し、大変賑やかなお祭りとなった。



▲水中コイン



▲全体の様子

雲龍柳

うんりゅうやなぎ

「夏は過ぎやすい」これが北海道の魅力の一つだったはずである。地球沸騰化時代を迎え、日本中の気温は40度超えという記録的上昇の一端をたどり、もはや、北の大地も避暑地としての心地よさを失った感がある▼参議院選挙後、政治もまた様々な思惑が絡み、国民不在の政権維持運営が火急の課題を送り送っている。とりわけ参政党の躍進には、「日本人ファーストの政策」このキャッチコピーが有権者に効果的だったという。「木を見て森を見ず」なのかもしれないが、今、日本では日常的国際交流が根づき、国際化共生社会・多文化共生が願われてはいないのか、私の早とちりならいいのだが▼毎年8月は、ヒロシマ・ナガサキの原爆から終戦を否定なしに思い起こし、平和を希求しその大切さを心に刻む時である。マスメディアは、様々な特集を制作して映像化し報道する。8月封切りの『長崎―閃光の影で―』を鑑賞した。原爆後、「命を救おうと奔走し多くの命を葬った少女たちのか月の物語」である。原爆直後の現実には、まさに焦土と化し地獄そのものであり絶句し言葉を失う。「一週間はよ負けとったら、みんな生きとった」「うちらは生かされている。スミさんにできることは生かされている。この二つの描写は、いのちそのものを的確に表現し核心をついていると領いた▼世相を鑑みると、私一人が両手を広げても飛び上がっても届かない世界に、世の中は足を踏み込んでしまったような気がする。高度情報化社会、テクノロジー社会、スマート社会などと呼ばれる環境は、私一人の尊厳性を軽視し人間に真の充足を導くとは思えない。

(坂)

青黄赤白 それぞれの色 それぞれに輝く

この言葉は仏の教えである『仏説阿弥陀経』の中で説かれている「青色青光 黄色黄光 赤色赤光 白色白光」という阿弥陀仏の浄土に咲く蓮の花を語っている一説を書き下した言葉です。

今私が勤めている円山支院の隣には、大谷第二幼稚園と大谷オアシス保育園があります。日頃から園児たちが走り回ったり、園庭で遊ぶ光景を目にしますが、一人ひとりが目を輝かせて、今を純粋に楽しんでいる様子を見ていると、我が子の小さかった頃が懐かしく思い出されます。かつてはいつも慕ってくれていましたが、今では難しい年頃になり、つつい昔と比べ、言うことを聞かせようと躍起になってしまうこともしばしばです。自分自身の我が子でさえも心の中で比べていることに気づかされます。自分の思う「正しさ」に無理やり引き込み、自分の色に染めようと求めてしまいます。

「白色だけでも200種類、黒色は300種類」とテレビで言っていた人がいましたが、色には本当にたくさんの種類があります。どの色がすごいという優劣もなく、それぞれに役割があり、混ざり合って美しい世界が生まれます。人も同じように、心や、成長のかたち、得意なことも、様々違うけれど、大切なのは自分の色も自分と違う色もそのままで尊いという事、それぞれが自分の色を生かしてこそ豊かになるのだとこの言葉に気付かされます。

「私は私の色で輝けばいい」、違いを喜べる心を持つのは簡単ではないですが、比べるより照らし合うような家庭や社会でありたいと思います。

高月 賢志



お寺さんに

聞いてみよう！

戒名と法名？



お寺さんに戒名をつけてもらおうとしたら、「浄土真宗では法名をお付けしますよ」と言われました。戒名と法名の違いって何ですか。

A.

一般的に「法名」が「戒名」の別称のように思われることが多いですが、実は二つは異なるものです。

「戒名」は、仏教の戒律を受けて修行をする者に与えられる名前で、本来は生前に授かるものでした。しかし、煩惱を抱えた人間が生きながらに戒律を守ることは難しい為、自らの力で修行をして悟りを得ることが目的の宗派では、死後に修行を始めるという意味で亡くなった際に「戒名」が授けられます。

一方、真宗では戒律を守って修行するのではなく、阿弥陀仏の本願を聞きひらいて生きることが大切とされるため、「戒名」でなく「法名」をいただきます。

「法名」は仏弟子としての名であり、「釋〇〇」と名乗るものです。法名は死後につけるものではなく、生前に「帰敬式（おかみそり）」を受けていただくのが本来の形になります。仏法を拠り所にしてお念仏の生活を送り、学んでいこうと改めていただく名が「法名」です。

生前に帰敬式を受けられなかった方には、亡くなった際にその人の仏縁と生き様を敬って「法名」が贈られます。それは死後の名前というより、仏弟子としてこの人生を歩み、阿弥陀如来に皆等しく救いとられて、浄土に往生した証としての名前、これから私たちが手を合わせていく仏さまとしての名前です。

法名には、基本的には阿弥陀仏の本願が説かれている浄土三部經の文字が用いられ、「本願に生きよ」という願いが込められています。また、文字数が多い方が、ありがたみがあるという声を耳にしますが、「法名」はその意味と願いこそが大切とされていて、親鸞聖人も「釋親鸞」や「釋鸞」という法名をなされました。



札幌で一世紀近く愛され続けている老舗宴会場である「三川屋会館」を紹介する。1935（昭和10）年に居酒屋として開業した三川屋会館は、来客者の要望もあり宴会専門店として生まれ変わった。三川屋会館に入ると1階には欧米風のロビーがあり、2階から7階のフロアは全て宴会会場となっている。各フロアには和室、洋室、掘りごたつ部屋があり、人数や用途に合わせて使い分けされている。宴会コースは4,000円～8,000円（全て飲み放題）が用意されており、和食・中華をメインに食事を提供している。とてもリーズナブルでボリュームがある美味しい食事が楽しむことができる。「株式会社三川屋会館チェーン」4代目の代表取締役である土江田尚明さんにセールスポイントをお伺いすると「7階には斎壇が設置されているので、ご法事を勤める際にはご法要プランをご利用下さい。また、各部屋が完全個室になっているので、ゆっくりとくつろいで頂くことができます」とお話を聞いた。家族や友人、会社の方々と集まりがある際には是非一度利用してみてはいかがでしょうか。

門徒のおしごと
三川屋会館



**株式会社
三川屋会館チェーン**
札幌市中央区
南3条西5丁目17

アクセス 地下鉄南北線 すすきの駅 徒歩5分 ノルベサの向かい
営業時間 10:00～23:00
定休日 年中無休(年末年始 12/30～1/2 休み)
TEL 011-231-7400
駐車場 なし



大広間(3階和室)



洋室会場



掘りごたつ部屋
(6階和室)



新鮮なお刺身と本格中華



大谷オアシス保育園

あつい、運動会！

大谷オアシス保育園では毎年初夏に運動会を行っています。0～2歳児は子どもたちが慣れている園内のホールで開催し、3～5歳児は姉妹園と合同で円山公園にて開催しました。

年々北海道の気温が高くなり、今年は6月から暑い日々が続き、幼児の運動会への取組も6月からはじまります。子どもたちの運動会への気持ちの高まりに合わせるように日々気温も高くなっていききました。

年長児の子どもたちにとっては、園生活最後の運動会であり、ずっと憧れていたヨサコイやリレーを走ることを楽しみにしていました。ヨサコイの振付を覚え、初めて鳴子を手を持った時には嬉しそうな表情を浮かべ、リレーの取り組みの中では他の子に抜かされ悔しい気持ちから子どもたちで作戦会議をし、バトンの渡し方やどういう風に走ったら早く走れるかを話し合っていました。1つの行事にむけていろいろな表

ガしわちゃんのゆる～い日常



第5話

読書の秋



園長 信山 祥子

情を見せてくれて、そして、子どもたちの気持ちも成長していく姿がありました。

当日は、熱中症指数が高く、親子競技を中止するなどプログラムの一部を変更しましたが、ヨサコイは大きな掛け声で力いっぱい踊り、リレーも抜かし抜かされ、転んでも最後までバトンを繋ぐ気持ちで最後まで走る姿もあり、参観している保護者の方々から熱い声援が送られた今年の運動会でした。



法話

弥陀回向の法

今回お話の御縁をいただき「弥陀回向の法」という講題を出させていただきました。少し堅い講題ですが、仏法そのものは「三帰依文」にもありますように全て阿弥陀如来からの差し向けであります。平たく言えば私たちの方からは梯子が架からないようになっていく。実は浄土から私たちに梯子が架かるようになっていくことを表現したくてこの講題を挙げさせていただきました。

私は6年前に母を亡くしまして、その当時私は東京教区の駐在教導をしており母には姉が付き添っていました。ある時、姉から母ももう長くない様子なので最後に何か伝言はあるかと気遣って電話がきました。その時私はふと考えて「おふくろに念仏してくれって誉が言っていたと伝えて下さい」と言ったのです。電話を切ったその晩は眠れませんでした。なぜ眠れなかったのかというと私が本当に伝えなかった言葉は「念仏してくれ」という言葉ではなかった。それは私が僧侶になってから先生や先輩から聞いた話です。こうやって袈裟をつける身になって格好つけたかったのか、思ってもいないことを姉に言ってしまった。もっと違う言葉があったかもしれないし何もなかったかもしれない。それを正直に言うことが出来なかった。念仏してくれということは全

く悪いことではありませんが、私の腹の底から出てきた言葉ではありませんでした。

一晩中、嘘みたいなことを母に言って申し訳なかったと思っている内に母が亡くなり、お通夜の前に姉と二人になったので「実は…」と私の申し訳ない思いを話したのですが、姉も実は忙しくて母に伝えるのを忘れていたと言いました。今思うと笑い話の様ですが、姉はその時に病床の母の事を教えてくれました。母は夕方になると暗い病床で目を開けたまま「助けて下さい。助けて下さい」とずっと呟いていたそうです。さらに姉は「私は仏教や真宗の事はよくわからないけど、あれが母さんの念仏だったんじゃないかなと私は思う」と言いました。「助けて下さい」という言葉がイコール「お念仏」であるかどうかは一概には言えませんが、その母の言葉の出所を思ったとき、東京の御住職から教えて頂いた、金子大榮先生が病氣のお母さんに宛てた手紙を思い出しました。

私の在り様を教えてください仏の慈悲

金子先生は病に伏してお念仏を喜ぶ心が起らないと嘆く母にお手紙の中でそれが人間の当然の

姿だと伝えた後、「お念仏を申してありがたいとなる
のではありません。お念仏申されることがありがた
いのであります。お念仏申されることの他に、あり
がたいことがあると思われるのは計らいであります。
称える心はいかようであろうとも、称えられるお念
仏が浄土へ送り届けて下さるのであります」と仰い
ます。念仏申されることがありがたいのであって、
ありがたいなるために念仏申すのではないというこ
とですね。

私たちは善行善業を積んで仏様から御利益をいた
だく事を回向と考えます。しかし親鸞聖人はそうで
はなく、私たちの思いに先立って如来が回向して下
さっている、そこに私たちが教えられるかどうかだ
と言います。だから仏教とは心を変えさせたり生き
方を変えさせたりするものではありません。私は生き
方を教えてくれるのが仏法だと思っておりました
が誤りであります。私の事実、私の實際を私の在
り様を教えてください。それが仏さまの慈悲です。少
しでも良き人になって救われたいというのが人情で
すがそれは自分の計らいです。そうじゃない、その
ままで救われるのだと立ち上がっているのです。

お念仏いただく世界へ還っていく

「凡夫」という言葉がありますが、それは自分で
開き直って言う言葉ではなく仏さまから「凡夫よ」
と呼びかけられる言葉です。自分は凡夫だから、仏
さまの回向があるから何もなくてもいいのだとい

うのではなく、私は私として精一杯生きなければな
らない。しかし、自分の思いを優先していくという
ことが私たちの生活には出てきてしましますが、そ
ういう私たちを受け止めて成り立たせる大地こそが
真実の浄土なのではないかと思えます。そのお浄土
から私たちは生まれてきた。しかし成長して経験を
積むにしたがって自分の思いが大きくなり、世間の
事が大切になっていきます。しかしある時仏法を聞
いてそれが逆転する。頭で考えて屁理屈をつけて生
きていたことが妄想だったとお念仏いただく世界へ
還っていくのです。

日暮らしの中で称える何でもないようなお念仏
が、親鸞聖人の教えを聞くものにとってはお念仏
切なことだと毎日の中でいただいているのです。

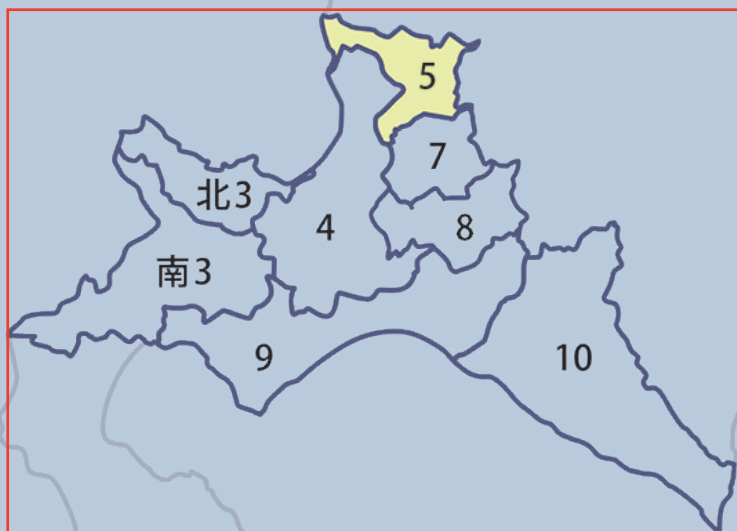


渡邊 誉 (わたなべ ほまれ)
三重県桑名市 西願寺

本稿は2025年6月の
永代経法要・門徒物故者追弔会の
法話要旨です。

無盡蔵

崇敬区だより



『円相クラウド』

（完全さと不完全さの溶け合う世界）

久保奈月さんは共和町出身、月形町に在住し活躍する書道家だ。久保さんは介護職の傍ら創作を始め28歳の時、初めてのライブパフォーマンスをきっかけに書家として活動に身を置くことを決意したという。現在、使われなくなった小学校の跡地を活用した拠点に TSUKIGATA art VILLAGE を設立し、多方面に様々な仕事を手掛けている。

久保さんの作品は、自然をテーマにしたもの、丸や点、線など一見絵のように見える作品が印象的だ。漢字を一度解体し、再構築してできるものを意識しているとのことである。書道をベースとしながらも文字としての形にとられない表現、墨像という現代書道や前衛書道とも呼ばれる抽象的表現である。

書道との出会いは、7歳の時、母の勧めで書道教室に通い始めたことだという。文字を自由に書く楽しさを知り、自身の生きる姿勢を表現するために、書道はなくてはならないものとなった。



▲久保奈月さん

なかでも、仏教の世界観、真理や悟りを表している書画『円相』は久保さんの作品の中でも数多く制作され、沢山の人の心をとらえ語りかける作品となっている。『円相』作画のきっかけは、小学生の頃に見た大きな鳳凰の形をした雲が、一瞬にして姿を変えたという出来事が鮮明に記憶され、見え方や解釈の面白さと円の姿の不思議さがリンクし、後の『円相クラウド』シリーズの着想となった。

円の流れ続ける動きには、始まりも終わりもなく角に引っ掛かる事もない。とらわれない姿、解放された姿が表わされていると感ずる。

一方、毎回描かれる円に同じものではなく、しばしば歪みや途切れが生まれ、そこに不完全さや無常が象徴され、ありのままの姿、美しさが感じられる。

解釈はいつでも見る人に委ねている。作り手と鑑賞する人が一体となって、新たな作品が生まれていく。そして、私たちの心の有り様によって、刻一刻と鼓動のように作品の印象が変わり、まさに「今この瞬間」を生きているのちの姿が現れているように思う。常に移り変わる世の中を生きる私たちだからこそ、時には立ち止まって、「今ここ」に届けられているものを見つめ、ただ受けとめる時間こそ、かけがえないものではないだろうか。



第5組

圓福寺 中嶋実智奈

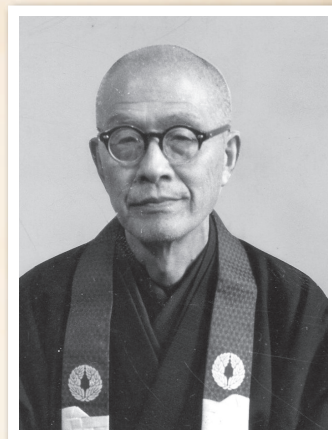
連載企画「前に生まれん者～近代の教学者たち～」

清沢門下の逸材

かねこ だいえい

金子 大榮

金子大榮は明治から昭和にかけて活躍した真宗大谷派の僧侶である。清沢満之の後を継ぎ、教学の現代化を使命とした大榮を一般に「清沢門下の逸材」と呼称される。またそのことは大榮自身「喜ばしいこと、内なる誇り」と受け止め、満之を終生の師と仰いだ。



金子 大榮（大谷大学より提供）

異例の得度

新潟県中頸城郡高田町の最賢寺に生まれた大榮は、5歳の春の頃、時の嚴如上人の前で『三部経』を読誦し上人を驚かせた。そして上人の権限により特例での得度を受けたのである。（本来の得度は9歳から）そこから大榮は関係学校へ進み真宗の歩みをはじめていく。

自坊を中心とした活動

明治37年、真宗大学を卒業した大榮は自坊のある高田へ戻り仏典の研鑽や執筆活動に専念する。いわゆる教学者と呼ばれる者の多くは都に留まり、研究や教職を続ける者が多い中、珍しい動きである。しかし自坊を拠点に深めた研鑽が、初作『真宗の教義と其の歴史』を筆頭に、後に遺す多くの著作の下地となったのである。

応の伝統

大正4年、東京の「浩々洞」が危機的状況に陥ったことで出郷を請われ、『精神界』の編集責任者となる。翌年には真宗大谷大学の教授に就任した。外からの求めに応じ、使命に動き出したのである。

その他にも東洋大学、広島文理科大学、高野山大学などで講師を務め、多方へその知見を広めた。

『教行信証』の公開

多岐にわたる功績の中でも特筆すべきは、宗祖の主著でありながら、その難解さから一部の知識人にしか顧みられなかった『教行信証』の公開に生涯を尽くしたことである。『教行信証の概要』や『教行信証概説』等、その他にも沢山の著述を遺し、現在でも我々の教本となっている。

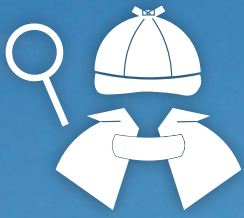
聞思の教学

晩年に至るまで多数の著述を遺した大榮であるが、その研究姿勢はどこまでも「知識の一部としての学び」ではなく「宗教的欲求に随った学び」を貫いた。

その根幹には、生涯「聞思」という言葉に親しみ、大切にされたことがある。宗祖の「聞思して遅慮することなかれ」（『教行信証』総序）の言葉に生きる大榮の姿勢に感化された後学の弟子たちが、今尚、その意志を継いで歩んでいる。

金子 大榮 (1881～1976)

新潟県中頸城郡高田町の真宗大谷派最賢寺に生まれる
明治～昭和期に活躍した真宗大谷派僧侶・仏教思想家
大谷大学名誉教授



すすきの探訪ツアー

六番地の子と同級生だったという老人は、大正十年に行政機関で実施した「札幌区細民調査表」を大切に保管していた。

当時の調査結果を見ると第一次世界大戦後に起こった不況の影響で貧民区とも呼ばれた地域は豊平川付近で急増しており、戸数にして約百戸、三百人近くの人々が棟割り長屋で暮らしていた。殆ど^{むしろ}の家が^{くずもの}筵を二～三枚ほど敷いた一間の空間で、炊事場と便所は全て共同と記されている。屑物拾いや葬祭人夫、除雪人夫などの職業が多く、月収は十～二十円前後。冬場の燃料を買う余裕は無く、豊平川が運んでくる流木や自然の恵みが彼らの生活を支えていたのだった。

^{うきかわたけ}浮川竹の勤めをしていたという三十四歳の女性は、鳶職の夫が怪我で体が不自由になってから夫婦の仲が冷え行方不明となりここで暮らすようになった。また、彼女の隣に住んでいるアイヌは、月収が五十円と全国平均よりやや高く十勝にも相当の財産があるとのこと。

そこに辿り着く経緯は、一人一様である。事業の失敗や、老いて身の抛り所を失すなど様々であるが、身寄りを失くした者同士が支え合い、或いは過度に干渉せずに暮らしていたのだ。

大きな問題としては、未就学の児童が約三分の一を占めていたということ。ただ、そうした子供たちの為に、新渡戸稲造夫妻が細民区と薄野の間に「遠友夜学校」という無償の夜学を開校していた。後に校長を勤めた小説家の有島武郎は、「星座」という作品の中で、若き日に感じた心の葛藤を描くも、未完のままでこの世を去った。

貧しい人々の砦であった集落は、社会悪として昭和三十一年に行政代執行されたが、薄野交差点から東へ向かった豊平川の手前には、まちの記憶として遠友夜学校の碑が残されている。



著 / 民衆史研究家 石川圭子



▲遠友夜学校 1



▲遠友夜学校 2



▲星座

共生

アイヌ民族文化財団

理事長 **常本 照樹**



民族共生象徴空間ウポポイは、7月12日で開業5周年を迎えました。来場してくださった皆様、応援してくださった皆様に心から感謝申し上げます。

「民族共生の象徴となる空間」の設置を初めてうたったのは「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」が2009年に内閣官房長官に提出した報告書でした（本紙2023年11月号参照）。わたしもこの懇談会の委員を務めさせていただき、事務局の内閣官房職員による資料作成や報告書の草案作りなどを一緒に行い、日付が変わるまで札幌と東京でメールのやりとりをしていたものでした。

こうして誕生した民族共生象徴空間は、その後、アイヌ文化の伝承者やアイヌ語の専門家によってアイヌ語の愛称の候補として、ウポポイ（（おおぜいで）歌うこと）、ウナカリ（互いに会うこと）、ウタルニ（人々がいるところ）の3案が選ばれ、全国民に呼びかけた投票でウポポイに決定しました。

ウポポイのオープンは2020年4月24日に予定されていましたが、思いもよらない新型コロナの蔓延により2度の延期を余儀なくされ、ようやく7月12日に開業にこぎ着けたのでした。それでも、入場を事前予約制とし、博物館は1時間ごとに100人に入場者を制限するなど、お客様には大変なご不便をおかけしました。



これまでもウポポイは一人でも多くのお客様をお迎えし、多様な文化と共生する社会の大切さについて思いを致していただくため、アイヌ文化のみならず、ハワイや台湾、ウェールズなど海外の先住・少数民族の文化や、琉球文化や江差追分などもご紹介してまいりました。小さなお子様にも楽しんでいただけるようにウポポイらしい遊具も準備中です。これからのウポポイはもっと魅力的になります。ご期待ください。

年間行事表 9～11月

9月		10月		11月	
1日(月)	山鼻支院婦人会定例 13:00～ 亀谷 哲(余市町 即信寺)	1日(水)	山鼻支院報恩講 鶴松 普(富山県 西念寺)	1日(土)	山鼻支院婦人会定例 13:00～ 金崎恵明(むかわ町 本念寺)
2日(火)	札幌婦人会定例法座 13:00～ 研修室 川原興文(旭川市 泰巖寺)	2日(木)	札幌婦人会定例法座 休会	2日(日)	札幌婦人会定例法座 13:00～ 研修室 中岡 秀(深川市 敬徳寺)
	豊白支院婦人会定例 13:00～ 亀谷 哲(余市町 即信寺)		山鼻支院報恩講 同上		豊白支院婦人会定例 13:00～ 金崎恵明(むかわ町 本念寺)
3日(水)	現来寺支院婦人会定例 同上	3日(金)	現来寺支院報恩講 同上	3日(月)	現来寺支院婦人会定例 同上
4日(木)	北三条支院婦人会定例 同上	4日(土)	現来寺支院報恩講 同上	4日(火)	北三条支院婦人会定例 同上
5日(金)	円山支院婦人会定例 同上	5日(日)	円山支院報恩講 並 創立100周年記念法要 同上	5日(水)	円山支院婦人会定例 同上
6日(土)	北支院婦人会定例 同上	6日(月)	円山支院報恩講 同上	6日(木)	北支院婦人会定例 同上
8日(月)	ひがほん暮らしの朝市 10:00～14:00 境内 開基現如上人御命日法要 13:30～ 本堂 館 行成(別院職員)	8日(水)	ひがほん暮らしの朝市 10:00～14:00 境内 開基現如上人御命日法要 13:30～ 本堂 櫻木 証(大分県 西岸寺)	8日(土)	ひがほん暮らしの朝市 10:00～14:00 境内 開基現如上人御命日法要 13:30～ 本堂 竹村 知見(別院職員)
		9日(木)	北三条支院報恩講 櫻木 証(大分県 西岸寺)		
		10日(金)	北三条支院報恩講 同上		
		11日(土)	豊白支院報恩講 同上		
12日(金)	大谷婦人会定例(報恩講)法座 13:00～ 本堂 金石晃陽(蘭越町 光福寺)	12日(日)	豊白支院報恩講 同上		
	おつとめ教室 15:00～ 大広間 札幌別院職員				
13日(土)	親鸞講座 15:00～ 大谷ホール 小泉元瑞(江別市 瑞雲寺)	13日(月)	北支院報恩講 同上		
14日(日)	仏教講座「暮らしの中の仏教」 14:00～ 大谷ホール 中西志香(中札内村 同朋寺)	14日(火)	北支院報恩講 同上		
				15日(土)	親鸞講座 15:00～ 大谷ホール 小泉元瑞(江別市 瑞雲寺)
20日(土) 21日(日) 22日(月)	秋季彼岸会 13:30～ 本堂 小川如俊(江別市 大恩寺)				
23日(火)	秋季彼岸会 13:30～ 本堂 酒井 智(南富良野町 恵光寺) ※無量寿堂総経 (勤行後、無量寿堂に於いて)	23日(木)	報恩講 13:30～ 中西無量(福岡県 西岸寺)	23日(日)	ひがほん暮らしの朝市 10:00～14:00 境内
		24日(金)	報恩講 同上		
		25日(土)	報恩講 同上		
26日(金)	おつとめ教室 15:00～ 本堂 札幌別院職員	26日(日)	ひがほん暮らしの朝市 10:00～14:00 境内 報恩講 13:30～ 藤井慈等(三重県 慶法寺)		
27日(土)	宗祖親鸞聖人御命日法要 13:30～ 本堂 佐々木順道(名寄市 光徳寺)	27日(月)	報恩講 14:00～ 結願違夜 同上	27日(木)	宗祖親鸞聖人御正忌 13:30～ 本堂 吉田法純(恵庭市 島松寺)
					祖徳讃仰の集い 16:00～ 大谷ホール さっぽろ名妓連錦秋の舞
28日(日)	ひがほん暮らしの朝市 10:00～14:00 境内 同上	28日(火)	報恩講 9:30～ 同上 10:30～結願日中	28日(金)	宗祖親鸞聖人御正忌 13:30～ 本堂 吉田法純(恵庭市 島松寺)



おあさじ

朝 6 時 30 分から
毎日どなたでも
お参りいただけます

永代経・寄贈披露

尊い浄財及び寄贈を賜りました。
ここに披露申し上げます。

○永代経

【本院】

西川 昌利 様 白石区 田中 敏文 様 東区
油屋 和子 様 南区 福島 一守 様 仙台市
高野 寛未 様 東京都 【現来寺】
南口 礼子 様 清田区 寺田 幸雄 様 東京都
今井 一志 様 東京都 寺田 龍一 様 滝川市

【北三条】

団体参拝

お参りいただきありがとうございました。

6月23日 第12組 竹園寺 様
6月23日 第19組 観照寺 様

各支院 秋季彼岸会・永代経法要日程

北 支 院 9月22日・23日 13:00～ 照山 大智(小樽市 教照寺)
北三条支院 9月24日・25日 13:00～ 仁禮 秀嗣(木古内町 圓照寺)
豊 白 支 院 9月20日・21日 13:00～ 埴山 和成(遠軽町 法願寺)
円 山 支 院 9月22日 13:00～ 金石 潤導(黒松内町 開正寺)
9月23日 12:30～ 金石 潤導(黒松内町 開正寺)
山 鼻 支 院 9月20日・21日 13:00～ 伊藤 秀(興部町 興隆寺)
現来寺支院 9月22日・23日 13:00～ 菊地 得典(湧別町 聖明寺)

札幌別院報恩講

◆日 に ち: 10月23日(木)～28日(火)
◆場 所: 札幌別院本堂
◆講 師: 23日～25日 中西 無量(福岡県 西岸寺)
26日～28日 藤井 慈等(三重県 慶法寺)
※法要の時間については法要パンフをご覧ください。



表紙紹介

Title 四季彩の丘
Photo 菊池 恵子

無量寿の会

札幌別院にて毎月2回13時から
お寺で俳句を詠んでいます
講師 荒船青嶺先生に教わります

札幌別院機関紙 令和7年9月掲載句
幸せの昼寝の時間熱籠る 金浦 乗
透き通る食器に出されて心太 山田 正雄
人波の清水寺や心太 鳴 兎 小 吉
さらり食み人心地つく心太 三浦 伸 子
浜みやげ叔母の手づくり心太 齊藤 和 加

テレホン法話

(011)511-1313

9月前半 わがまま 阿部 正信
9月後半 より真宗らしく 境川 隆一
10月前半 苦を賜わる 村上 正道
10月後半 生死を照らすもの 武田 昭龍
『つきあかり 東別院テレホン法話集』より

編集後記

先日、本院の親鸞講座で聴講をさせて頂いた時に、講師の小泉元瑞氏より「人は何の為に生きるのか」という問いかけがあった。一般的な感覚で答えれば、「子孫繁栄の為」や「自らの成すべき事をする為」といった事が挙げられるだろうか。

そこで小泉先生は続けて「往生する為、浄土に生まれる為である」とお話しされた。また、私が今まで聞いてきた中で、別の先生は「教えを聞く為」とお話しされた事があった。

この様に、この問いに対しての答えは人によって千差万別であると思うが、確実に言えるのは、人は皆この娑婆世界に生きている以上共通した、自らの命題なのだろうという事だ。

私自身もずっと引っかかっている問いであるが、未だ答えは見つからない。だからこそ、聞法を続けて教えに出会い、その事を自己に問い続けるしかないのではないだろうか。

今回の講義を受けて、今後もまた、御門徒と共に聴聞に励みたいと思いを新たにしました。

(憲)



<https://ohigashi-sapporo.jp>



東本願寺 札幌別院

〒064-0807 札幌市中央区南7条西8丁目290

TEL.011-511-0502

E-mail. ohigashi@abeam.ocn.ne.jp

地下鉄南北線「すすきの」駅で下車
→市電外回り「東本願寺前」徒歩1分

WEBは▶
こちらから



LINEスタンプ



さっぽろ東本願寺 2025 9月号No.242
(発行人) 真宗大谷派札幌別院
(代表者) 坂田智亮